

国分郷土史 年表

| 昭和 | | 時 代 | |
|--|--------------------|-------------|-----|
| 昭和二〇 | 年 号 | 昭和二一 | 年 号 |
| 一九四五 | 西 曆 | 一九四六 | 西 曆 |
| <p>郷土の動き（政治・経済・社会・文化）</p> <p>八月十九日、国分海軍航空隊が解散する</p> <p>九月 枕崎台風により国分地方も大きな被害がでる</p> <p>十月 自主青年団が各地にできる</p> <p>十月 串木野台風で国分地方が再び大きな被害を受ける</p> <p>十月 大野原飛行場跡地が耕作地として許可される</p> <p>十二月華中・華南から復員軍人・民間人引揚げ第一船が鹿児島島に入港し、以後中国大陸・南方方面からの引揚げが続く</p> <p>十二月第一次農地改革が始まる</p> <p>四月 桜島大噴火、国分地方も降灰で農作物に被害がでる</p> <p>七月 満州からの初の引揚げ船、鹿児島へ入港する。</p> <p>続いて台湾・上海からも入港する</p> <p>十月 第二次農地改革が始まる</p> <p>一月 県内の学校でミルク給食が始まる</p> <p>四月 知事・市町村長（県議・市町村議）選挙が実施される</p> <p>・ 食塩不足のため県内海岸線一帯で塩たぎがはやる（二三年ごろまで）</p> | 郷土の動き（政治・経済・社会・文化） | <p>一九四五</p> | 西 曆 |
| <p>八月 ポツダム宣言を受諾し太平洋戦争が終わる</p> <p>八月 連合国軍が日本に進駐する</p> <p>十二月衆議院議員選挙改正法が公布される</p> | 中央の動き | <p>一九四六</p> | 西 曆 |
| <p>一月 公職追放令施行される</p> <p>四月 地方自治法公布される</p> <p>十月 自作農創設特別措置法が公布される</p> <p>四月 教育基本法制定される</p> <p>四月 衆・参議院議員の選挙が行われる</p> <p>五月 六・三制の義務教育を 実施</p> <p>五月 日本国憲法施行される</p> <p>十一月農業協同組合法が制定される</p> | 中央の動き | <p>一九四七</p> | 西 曆 |

| 昭 | 和 | 時 | 代 |
|--|--|--|--|
| 昭和三三 | 昭和三二 | 昭和三二 | 昭和三二 |
| 一九五八 | 一九五七 | 一九五六 | |
| <p>三月 市立図書館が発足する</p> <p>十二月第一回市民体育大会が開かれる</p> <p>・たばこ耕作地の減反措置が講ぜられる（昭和三五年まで）</p> | <p>六月 国分市消防本部（常設）が発足する</p> <p>六月 国分川原・木原簡易郵便局が開局する</p> <p>九月 上水道給水が始まる（敷根・下井・広瀬・福島地区）</p> <p>十月 重久保育園が開園する</p> <p>十月 二代市長に中馬猪之吉が就任する</p> <p>五月 市新庁舎が竣工する</p> <p>四月 入戸発電所が竣工する</p> <p>四月 国分中（国分中・清水中・東襲山中が統合）が発足する</p> <p>（実質統合三三年九月）</p> <p>一月 東国分と敷根の漁業協同組合が合併、国分市漁業協同組合として発足する</p> | <p>十一月国鉄バスが国分駅・川原間の運行を始める</p> <p>四月 国分中（国分中・清水中・東襲山中が統合）が発足する</p> <p>（実質統合三三年九月）</p> <p>十二月陸上自衛隊鹿屋より移駐し、国分駐屯地が発足する</p> | <p>六月 国鉄バスが国分駅・郡田間の運行を始める</p> <p>七月 国分小唄が決まる</p> <p>・国分市観光協会ができる</p> <p>十月 国勢調査が実施される、国分市人口三五、四八〇人</p> <p>十二月陸上自衛隊鹿屋より移駐し、国分駐屯地が発足する</p> |
| | | 一九五六 | 足する |
| | | 十二月日本の国際連合加入が決まる | 足する |
| | | ・葉たばこ専売法が施行される | |

| 昭和 | | 時 | | 代 | |
|------------------------------------|---|---|---------------------------------------|---|--------------------|
| 昭和三七 | 昭和三五 | 昭和三四 | 昭和三五 | 昭和三四 | 昭和三五 |
| 一九六二 | 一九六〇 | 一九五九 | 一九五九 | 一九五八 | 一九五八 |
| 七月 東国分・清水郵便局の受け持ち集配区を国分郵便局に統合する | 六月 国分市商工会が発足する 九月 『国分郷土誌』を発行する 十月 三代市長に古江正が就任する 十月 国勢調査が実施される。国分市人口三四、二九一人 十一月 国鉄バスが広瀬・上小川・唐仁町間の運行を始める | 九月 国鉄バスが国分駅・上小川間の運行を始める 分郵便局に統合する | 十一月 東国分郵便局・敷根郵便局の電話交換事務を国分郵便局に統合する | 三月 国鉄バスが国分駅・上之段間の運行を始める 四月 学校法人坂元学園認可される 七月 宇都に塵芥焼却場が竣工する 八月 始良地区たばこ耕作組合が設立される 十一月 国分郵便局が国有になる | 郷土の動き（政治・経済・社会・文化） |
| 一九六一 | 一九六〇 | 一九五九 | 一九五九 | 一九五八 | 一九五八 |
| 六月 農業基本法ができる | 六月 日米新安全保障条約が調印される | 四月 国民年金制度ができる 四月 皇太子殿下と美智子様とのご成婚 四月 伊勢湾台風で中部地方に大きな被害がでる 九月 日米新安全保障条約が調印される | 一月 メートル法が実施される | 中央の動き | 中央の動き |

| 昭 和 時 代 | |
|--|---|
| 昭和三七 昭和三八 | 昭和四一 |
| 一九六二 一九六三 | 一九六六 |
| <p>十月 下井簡易郵便局が開局する</p> <p>一月 豪雪のため農作物に甚大な被害がでる</p> <p>二月 向花・上小川・郡田・福島の簡易郵便局が開局する</p> <p>・ 敷根海岸沖で真珠貝の養殖が行われる（昭和四六年には事業を休止する）</p> <p>三月 国分市外三町宇都火葬場組合が発足する</p> <p>二月 国分市・隼人町し尿組合発足する</p> <p>八月 「特攻機発進の地」の碑を国分自衛隊正門前に建立する</p> <p>十月 四代市長に川崎志が就任する</p> <p>七月 国分家畜市場が落成する</p> <p>十月 国勢調査が実施される。国分市人口三一、二四九人</p> <p>十月 上井簡易郵便局が開局する</p> <p>十月 中野織布産業（株）が操業を始める（誘致企業第一号）</p> <p>十一月 市民憲章と市歌が決まる</p> <p>二月 清水・東襲山・敷根・国分農協が合併する</p> <p>四月 NHK第一回「ふるさとの歌まつり」が国分市で開催される</p> <p>五月 国分・隼人組合立し尿処理場が操業を始める</p> <p>六月 国道十号亀割バイパスが開通する</p> <p>九月 市青年団連絡協議会が発足する</p> | <p>一九六四</p> <p>七月 林業基本法を施行する</p> <p>十月 東京オリンピックが開催される</p> <p>六月 日韓基本条約が結ばれる</p> |

| 昭 和 時 代 | | |
|---|--------------------|-----|
| 昭和四二 | 昭和四一 | 年 号 |
| 一九六七 | 一九六六 | 西 曆 |
| <p>七月 市民会館が落成する</p> <p>九月 国分電報電話局が開局する。電話の自動化が始まる</p> <p>・ 鹿児島県畜産試験場（牧之原）と改称する</p> <p>・ 農業構造改善事業が認可される</p> <p>四月 国分南中（敷根中・東国分中統合）が発足する （昭和四五年四月実質統合）</p> <p>四月 九州学院大学（国分市）が開校する</p> <p>・ 農業基盤整備事業が始まる</p> <p>・ 府中のほ場整備事業、野口排水路の一部が完成する</p> <p>四月 国分市・隼人町消防組合ができる</p> <p>六月 市農協と東国分農協が合併する</p> <p>六〇七月集中豪雨で被害甚大、市に災害救助法が適用される</p> <p>七月 下井海岸に観光センターが建設される</p> <p>八月 「はんぎり出し」がNHKテレビで全国放送される</p> <p>十月 道義高揚都市を宣言する</p> <p>十二月 国分駅が改築される</p> <p>・ 府中・湊のほ場整備、用排水路の一部が完成する</p> | 郷土の動き（政治・経済・社会・文化） | |
| 昭和四三 | 昭和四二 | 西 曆 |
| 一九六八 | 一九六七 | 西 曆 |
| <p>六月 大気汚染防止法・騒音規制法が公布される</p> <p>・ 国民総生産が世界第二位となる</p> | 中央の動き | |

| 昭 和 時 代 | | |
|-----------------------|---|---|
| 昭和四九 | 昭和四八 | 昭和四七 |
| 一九七四 | 一九七三 | 一九七二 |
| 四月 | <p>郷土の動き（政治・経済・社会・文化）</p> <p>四月 市の木が「クロガネモチ」と決まる</p> <p>四月 地籍調査事業・住居表示事業が始まる</p> <p>四月 国分地方たばこ耕作組合の新事務所を国分市野口に置く</p> <p>四月 新鹿児島空港が溝辺町にオープンする</p> <p>九月 国鉄大隅線が全線開通する</p> <p>九月 鹿児島で太陽国体が開かれる。国分市は馬術・レスリングの会場となる</p> <p>十月 農業共済組合が合併する</p> <p>十月 京都セラミックが操業を始める</p> <p>十月 国分市外二町消防組合に牧園町が加入する</p> <p>・ ほ場整備事業の継続が決まる（昭和五三年完了）</p> | <p>郷土の動き（政治・経済・社会・文化）</p> <p>四月 市の木が「クロガネモチ」と決まる</p> <p>四月 地籍調査事業・住居表示事業が始まる</p> <p>四月 国分地方たばこ耕作組合の新事務所を国分市野口に置く</p> <p>四月 新鹿児島空港が溝辺町にオープンする</p> <p>九月 国鉄大隅線が全線開通する</p> <p>九月 鹿児島で太陽国体が開かれる。国分市は馬術・レスリングの会場となる</p> <p>十月 農業共済組合が合併する</p> <p>十月 京都セラミックが操業を始める</p> <p>十月 国分市外二町消防組合に牧園町が加入する</p> <p>・ ほ場整備事業の継続が決まる（昭和五三年完了）</p> |
| 四月 | <p>第一回「成人の日」記念マラソン大会開かれる</p> <p>三月 図書館・勤労青少年ホームが完成する</p> <p>四月 国分市外三町消防組合に福山町が加入する</p> <p>八月 『国分郷土誌』が発刊される</p> <p>十一月名波簡易郵便局が開局する</p> <p>十二月舞鶴園がオープンする</p> <p>十二月国分運動公園の工事に着手する</p> <p>・ 松木・小村（広瀬）ほ場整備、用水路の一部が完成する</p> | <p>郷土の動き（政治・経済・社会・文化）</p> <p>四月 市の木が「クロガネモチ」と決まる</p> <p>四月 地籍調査事業・住居表示事業が始まる</p> <p>四月 国分地方たばこ耕作組合の新事務所を国分市野口に置く</p> <p>四月 新鹿児島空港が溝辺町にオープンする</p> <p>九月 国鉄大隅線が全線開通する</p> <p>九月 鹿児島で太陽国体が開かれる。国分市は馬術・レスリングの会場となる</p> <p>十月 農業共済組合が合併する</p> <p>十月 京都セラミックが操業を始める</p> <p>十月 国分市外二町消防組合に牧園町が加入する</p> <p>・ ほ場整備事業の継続が決まる（昭和五三年完了）</p> |
| 国分市外四町消防組合から国分地区消防組合と | <p>第一回「成人の日」記念マラソン大会開かれる</p> <p>三月 図書館・勤労青少年ホームが完成する</p> <p>四月 国分市外三町消防組合に福山町が加入する</p> <p>八月 『国分郷土誌』が発刊される</p> <p>十一月名波簡易郵便局が開局する</p> <p>十二月舞鶴園がオープンする</p> <p>十二月国分運動公園の工事に着手する</p> <p>・ 松木・小村（広瀬）ほ場整備、用水路の一部が完成する</p> | <p>郷土の動き（政治・経済・社会・文化）</p> <p>四月 市の木が「クロガネモチ」と決まる</p> <p>四月 地籍調査事業・住居表示事業が始まる</p> <p>四月 国分地方たばこ耕作組合の新事務所を国分市野口に置く</p> <p>四月 新鹿児島空港が溝辺町にオープンする</p> <p>九月 国鉄大隅線が全線開通する</p> <p>九月 鹿児島で太陽国体が開かれる。国分市は馬術・レスリングの会場となる</p> <p>十月 農業共済組合が合併する</p> <p>十月 京都セラミックが操業を始める</p> <p>十月 国分市外二町消防組合に牧園町が加入する</p> <p>・ ほ場整備事業の継続が決まる（昭和五三年完了）</p> |
| | 一九七三 | 一九七二 |
| | ・ 石油危機で物価が高騰する | <p>中央の動き</p> <p>五月 沖縄が日本に復帰する</p> <p>九月 第二七回国民体育大会（太陽国体）が開かれる</p> |

| | 昭 | 和 | 時 | 代 | |
|--|---|---|---|---|---|
| 昭和五一 | | | 昭和五〇 | | 昭和四九 |
| 一九七六 | | | 一九七五 | | 一九七四 |
| <p>二月 舞鶴城の「朱門」、橘木城内にあった「供養</p> <p>十一月九州縦貫自動車道の溝辺・加治木間が開通する</p> <p>十月 国勢調査が実施される。国分市人口三一、六六〇人</p> <p>九月 テニス場・十二月陸上競技場にナイター施設が完成する</p> | <p>四月 市立公民館が開館する</p> <p>四月 市児童体育館が完成する</p> <p>四月 国分運動公園が開設される。翌年三月野球場・九月テニス場・十二月陸上競技場にナイター施設が完成する</p> | <p>四月 国分南小（敷根小・下井小・上之段小・国分東小統合）が発足する（昭和五一年四月実質統合）</p> | <p>一月 市で老人福祉電話五〇台を設置し、事業を開始する</p> <p>一月 城山公園の工事に着手する</p> <p>二月 市制施行二十周年の記念式典が行われる</p> <p>四月 国分南小（敷根小・下井小・上之段小・国分東小統合）が発足する（昭和五一年四月実質統合）</p> | <p>・ たばこ葉の在来種を廃止し、黄色種コーカー三一九を導入する</p> <p>・ 国分市と隼人町の漁業協同組合が合併し、錦江漁業協同組合として発足する</p> | <p>名称を変更する</p> <p>五月 国分地区ごみ処理組合敷根清掃工場が完成する</p> <p>五月 ソニー国分セミコンダクターが操業を始める</p> <p>十月 国分郵便局が新築される</p> |
| | | 一九七五 | | | |
| | | 七月 | 沖繩海洋博覧会が開かれる | | |

| 昭 和 時 代 | | 年 号 |
|--|--|--|
| 昭和五五 | 昭和五四 | 昭和五二 |
| 一九八〇 | 一九七九 | 一九七七 |
| <p>四月 粗大ごみ・危険物処理施設が完成する</p> <p>三月 磯平遊歩道が完成する</p> <p>三月 六地区集会所（東襲山・姫城・上井・湊・木原・府中）ができる</p> | <p>五月 郷土館が開館する</p> <p>三月 フィールド・アスレチック公園（児童の森）が完成する</p> <p>三月 愛の園幼稚園が開園する</p> <p>二月 県内の電話が完全自動化される</p> <p>一月 生活改善センター（新町・野口）ができる</p> <p>十二月 名誉市民に林昌治決まる</p> <p>九月 六代市長に谷口義一が就任する（昭和五七・六一年・平成二・六年再選）</p> <p>五月 城山公園が開園され、第一回国分観光まつりを開く</p> <p>三月 国分西保育園が開園する</p> | <p>郷土の動き（政治・経済・社会・文化）</p> <p>塔」、宮毘神社の「カヤ」を市の文化財に指定する</p> <p>三月 総合体育館が完成する</p> <p>三月 「クロガネモチ・雄株・雌株」、黒石の「オガタマノキ」を市の文化財に指定する</p> <p>・ 城山の発掘調査が行われる（昭和五二〜五三年度）</p> |
| 一九八〇 | 一九七九 | 一九七八 |
| <p>・ 日本の自動車年間生産</p> | <p>六月 東京サミット（先進国首脳会談）が開催される</p> | <p>五月 新東京国際空港が開港する</p> <p>八月 日中平和条約が締結される</p> |
| 中央の動き | 西暦 | 西暦 |

| 昭 和 時 代 | |
|--|---|
| 昭和五五 | 昭和五八 |
| 一九八〇 | 一九八三 |
| <p>七月 「国分市民ラジオ体操の集い」がNHKで全国放送される</p> <p>九月 第三四回県民体育大会が国分市を中心に開かれる</p> <p>十月 国勢調査が実施される。国分市の人口三五、四三三人</p> <p>二月 第十五回県林業祭が国分市で開催される</p> <p>三月 保健センターが落成する</p> <p>三月 五地区集会所（川原・塚脇・上之段・広瀬・清水）ができる</p> <p>四月 木原小と本戸小が統合される</p> <p>市税収が二〇億円を突破する</p> <p>二月 国分単人公共下水道連絡協議会が発足する</p> <p>三月 市武道館が完成する</p> <p>七月 県下初の「厄年健康診断」が実施される</p> <p>七月 国鉄バスが国分駅・城山公園間の運行を始める</p> <p>八月 全国高校総体、国分市はサッカーと剣道の会場となる</p> <p>・ 国分海浜公園の工事に着手する</p> <p>・ 太陽エネルギー灯が市内五か所に設置される</p> <p>四月 市弓道場が完成する</p> <p>七月 国道十号国分・単人バイパス案が決まる</p> <p>八月 亀ノ甲遺跡出土の「三累環頭大刀」と日枝神社の「青葉の竹」が市の文化財に指定される</p> <p>十二月 始良東部地方卸売市場管理組合が設置される</p> | <p>一九八二</p> <p>七月 第二次臨時行政調査会が、国鉄など三公社の分割・民営化を答申する</p> |
| 昭和五八 | 昭和五五 |
| 一九八三 | 一九八〇 |
| <p>六月 初めて参議院比例代表選挙が行われる</p> | <p>台数が一千万台を超え世界一となる</p> |

| 昭和 時 代 | | 年 号 |
|---|------------------------------|--|
| 昭和六〇 | 昭和六〇 一九八五 | 昭和五九 一九八四 |
| 昭和六一 昭和六二 | 昭和六一 一九八六 昭和六二 一九八七 | 西 曆 |
| <p>郷土の動き（政治・経済・社会・文化）</p> <p>三月 国分・単人テクノポリス地域開発計画の承認を受ける</p> <p>四月 学校法人都築学園が認可される</p> <p>五月 昭 and 天皇 全国植樹祭にご臨席、国分市をご視察になる</p> <p>六月 上井城跡に南公園ができる</p> <p>九〇十月 妻山元遺跡（夕日が丘）の発掘調査が行われる</p> <p>二月 国分市制三十周年の式典が行われる</p> <p>三月 国分市一般会計予算が一〇〇億円を越す</p> <p>七月 国分海浜公園が開設される</p> <p>十月 国勢調査が実施される。国分市の人口四〇、九三一人</p> <p>十二月 桜島の噴火年間四一八回で、年間記録を更新する</p> <p>・ 県営ほ場整備事業が完了する</p> <p>・ 障害者福祉作業所が完成する</p> <p>・ 障害者福祉体育館が完成する</p> <p>三月 国鉄大隅線が廃止される</p> <p>三月 働く婦人の家が完成する</p> <p>三月 敷根海域に国分漁港が完成する。同じころ広瀬の水戸川河口に船溜まり施設も完成する</p> <p>四月 障害者専用体育館が完成する</p> <p>十二月 鹿児島県工業技術センターが開設される</p> <p>・ シルバー人材センターが設立される</p> | | 西 曆 |
| 昭和六〇 | 一九八五 | 一九八四 |
| 三月 | 三月 「科学万博つくば八五」が開かれる | 中央の動き |
| 八月 | 八月 日本航空ジャンボ機が群馬県御巢鷹山に墜落する | 六月 日本が男女とも世界一の長寿国となる。男子七四・二歳、女子七九・七八歳 |

| 平 成 時 代 | | | | 昭 和 時 代 | |
|---|---------------------------------------|--|--|--|--|
| 平成 四 | 平成 三 | 平成 二 | 平成 一 | 昭和 六三 | 昭和 六三 |
| 一九九二 | 一九九一 | 一九九〇 | 一九八九 | 一九八八 | 一九八八 |
| 三月 三月 | 二月 三月 四月 | 三月 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 | 三月 四月 五月 六月 七月 八月 九月 十月 | 四月 四月 五月 五月 六月 七月 八月 | 四月 四月 五月 五月 六月 七月 八月 |
| 国分市市民プール公園が完成する 国分市と始良地区一農協が合併し、「J A あいら」が発足する | 上野原テクノパークにハイテク展望台が完成する 国分海浜公園が完成する | 地籍調査事業が完了する 失業対策事業が終了する 台明寺溪谷公園が完成する 市役所職員の四週六休制がはじまる | 「高座神社の社叢」が県指定文化財となる 鹿児島県たばこ耕作組合が発足したことにより、鹿児島県たばこ耕作組合国分支所と改称する 上野原テクノパークに工場が進出しはじめる 国分単人下水道組合が発足する 国分共同畜場が完成し業務を開始する 「塚脇学園」ができる 国勢調査が実施される。国分市の人口四六、五五七人 | 日本専売公社国分出張所が廃止される 国分観光農園がオープンする ローカルエネルギー館が開館する 岩坂工業団地に工場が進出しはじめる 国分青年会議所が発足する | 日本専売公社国分出張所が廃止される 国分観光農園がオープンする ローカルエネルギー館が開館する 岩坂工業団地に工場が進出しはじめる 国分青年会議所が発足する |
| | | | 一九八九 | | |
| | | | 昭和六四年一月七日 | | |
| | | | 皇御逝去。皇太子明仁親王が即位され新元号を「平成」と改める | | |
| | | | バブル経済の崩壊始まる | | |

| 年号 | 西暦 | 郷土の動き（政治・経済・社会・文化） | 西暦 | 中央の動き |
|-----|------|---|------|-----------------|
| 平成四 | 一九九二 | 三月 第一回国分テクノマラソンが実施される 三月 自動車専用の準人道路が開通する 四月 鹿児島頭脳センターが上野原テクノパークに開設される 十一月山口誓子の句碑が城山公園に建立される 一月 市役所職員の完全週休制がはじまる 三月 国分中央町郵便局が開局する 八月 八・一水害、国分・始良地区に大災害が起こり、国分市や準人町などに災害救助法が適用される 八月 八・六水害、鹿児島市周辺に大災害が起こる 九月 台風十三号鹿児島県を縦断し、県内各地で被害が広がる ・ 黒石岳森林公園整備事業が着工される 五月 「義久の朱印状」を市の文化財に指定する 七月 松木簡易郵便局が開局する 八月 国分北公園が開設される 二月 市制四十周年の記念式典が行われる 二月 市の花「ハナタバコ」「コスモス」が決まる 九月 国分市制四十周年を記念して「NHKのど自慢」が全国放送される 十月 国勢調査が実施される。国分市人口が五〇、〇四五人 ・ 錦江湾奥に赤潮が大発生、養殖魚七一万匹余が | 一九九二 | 九月 学校の週五日制がはじまる |
| 平成五 | 一九九三 | ・ 異常気象による冷害・長雨の被害が戦後最悪となる | 一九九三 | |
| 平成六 | 一九九四 | 一月 米不足が深刻となり政府は緊急輸入をする | 一九九四 | |
| 平成七 | 一九九五 | 一月 阪神・淡路島を直下型地震が襲い、大災害が起こる 三月 地下鉄サリン事件が発生する | 一九九五 | |

| 平 成 | | 時 代 | |
|------|------|------|----------------------------------|
| 平成一〇 | 平成九 | 平成八 | |
| 一九九八 | 一九九七 | 一九九六 | |
| 六月 | 三月 | 三月 | 死滅する |
| 七月 | 三月 | 三月 | 都市ガス火入れ式が行われる |
| 五月 | 三月 | 三月 | 国分単人クリーンセンター（下水処理施設）の一部が完成する |
| | 三月 | 三月 | 正覚寺公園が開設される |
| | 三月 | 三月 | 西地区コミニティ広場が開設される |
| | 四月 | 四月 | 市行政機構に「部長制」を設ける |
| | 九月 | 九月 | 国分環境防災研究所が開所する |
| | 九月 | 九月 | 東九州自動車道の工事が着工される |
| | 一月 | 一月 | シビックセンターが完成し、新庁舎で執務を始める |
| | 三月 | 三月 | 運動公園陸上競技場を全天候型に改修する |
| | 三月 | 三月 | 県北西部で震度五強の地震が起こる（県北西部地震） |
| | 三月 | 三月 | 『国分郷土誌』上巻と資料編を発刊する |
| | 四月 | 四月 | 青葉小学校が開校する |
| | 四月 | 四月 | 国分警察署が新築移転する |
| | 四月 | 四月 | 国分商工会議所が発足する |
| | 五月 | 五月 | 南日本新聞開発センターとの立地協定が成立する |
| | 五月 | 五月 | 上野原で日本最古・最大級の縄文早期前葉の定住集落遺跡が発見される |
| | 七月 | 七月 | 出水市で土石流災害が起こる |
| | 六月 | 六月 | 『国分郷土誌』下巻を発刊する |
| | | 一九九六 | 十二月ペルーで日本大使館大使公邸人質事件がおこる |